

立命館人間科学研究

第24号

目 次

編集委員長から

『立命館人間科学研究』の今後

—編集委員長着任にあたって—

松田 亮三 (2)

■研究論文

標識の示差性が支援する教科書の体系的な分かりやすさ

—児童期後期における支援可能性—

山本 博樹 (5)

同一の出来事を異なる方向から見た目撃者間の一方向的同調効果

若林 宏輔・サトウタツヤ (21)

非配偶者間人工授精によって出生した人のライフストーリー

由井 秀樹 (35)

「見えない障害」とともに生きる当事者の講演による高校生の障害観の変容

赤阪 麻由・日高 友郎・サトウタツヤ (49)

■実践報告

政策決定過程の可視化と分析にむけて

—議論過程のシミュレーションとそのKTHキューブによる表現—

破田野 智己・斎藤 進也・山田 早紀・滑田 明暢・木戸 彩恵・

若林 宏輔・山崎 優子・上村 晃弘・稲葉 光行・サトウタツヤ (63)

■研究ノート

メールカウンセリングに関する試論

—「いま・ここで」型アプローチから宿題型アプローチへ—

徳田 完二 (73)

執筆者紹介

(83)

『立命館人間科学研究』について

(85)
